

医療法人社団 大谷会 **島の病院おおたに**

贈呈理由

業務用ヒートポンプ給湯機の導入など、オール電化の採用により、大幅な省エネルギーを実現

医療・福祉施設

エコ・アイス
個別分散

ヒートポンプ給湯



島の病院おおたに

充実した医療環境を整備した島民の主治医

2017年3月に広島県江田島市内で移転・建て替えした島の病院おおたには、「0歳から100歳までを診る」をコンセプトに、先進治療の積極的な導入や、鹿児島大学で始まった和温療法、リハビリ分野における五感を生かすアートリハビリテーションなど新たな試みにも挑戦しながら、遠方の大きな病院に行かなくても“島でねばる”プチ総合病院を目指している。

同病院と江田島のかかわりは、1943年に開設した芸南病院までさかのぼり、以来70有余年、島の医療を担う病院として地域に貢献してきた。

前身となる大谷リハビリテーション病院が1985年の建設から26年が経過した頃、建物が老朽化する一方で患者の年代層の変化にともなうスタッフの増員で院内が手狭になるといった問題が浮上していた。

電力負荷の平準化や省エネルギー・環境負荷低減を実現

高齢化と人口減少が進む同島で、将来も含めて医師やスタッフの確保は困難が予想され、建て替えの判断は容易ではなかったが、これまで病院を育て支えてくれた島民への恩返し気持ちで、島内での移転・建て替えを決意した。

新病院の建築にあたっては、「ホテルのような、病院らしくない病院」を目指し、清潔さと快適さ、スタッフが気持ちよく働ける労働環境にこだわった結果、オール電化システムを採用した。

空調・給湯設備に、夜間電力を活用す



業務用エコキュート室外機



エコ・アイス(個別分散)室外機

るエコ・アイスと業務用エコキュートを導入したことで、電力負荷の平準化や省エネルギー・環境負荷低減を実現し、安心・安全で経済的な施設が実現した。

同病院は今後も、患者や島民が元気で穏やかに過ごせるよう、これまでと変わらぬスタンスで地域医療に従事していく。

島の病院おおたに

所在地: 広島県江田島市能美町中町4711
建築設計: (株)ゆう建築設計
建築施工: 今井産業・広電建設 共同企業体
延床面積: 9,198.40㎡
竣工: 2017年1月新設

■ 蓄熱設備概要

エコ・アイス(個別分散) 20HP×1台 [三菱電機]
業務用エコキュート 13kW×1台 [日立アプライнс]
業務用エコキュート 30kW×8台 [三菱重工業]
貯湯槽 30㎡